

海上の杜技術士会 第9回 技術研修会

講 演 要 旨

平成27年10月31日

於：愛知工業大学本山キャンパス

海上の杜技術士会



海上の杜技術士会 第9回 技術研修会 次第

(平成 27 年 10 月 31 日 於:愛知工業大学 本山キャンパス)

- 13:00～ 13:05 開会のあいさつ 大野 良蔵 会長 (S44 卒)
- 13:05～ 13:55 基 調 講 演
演 題 道路橋の耐久性問題とその対策
講 師 呉 承寧 先生
所 属 愛知工業大学工学部土木工学科 教授
- 13:55～ 14:10 質 疑 応 答
- 14:10～ 14:20 休 憩
- 14:20～ 15:00 講 演 [I]
演 題 森林整備と連動した溪間安定手法
～簡易木製工作物の設置及びその効果の検証～
講 師 服部 富雄 氏 (特別会員)
所 属 株式会社興栄コンサルタント 技術管理部長
- 15:00～ 15:15 質 疑 応 答
- 15:15～ 15:25 休 憩
- 15:25～ 16:05 講 演 [II]
演 題 快適なまちづくりと交通システムの整備について
講 師 加藤 信夫 会員 (S46 卒)
所 属 加藤技術士事務所 所長
- 16:05～ 16:20 質 疑 応 答
- 16:20～ 16:50 休憩(意見交換会準備)
- 16:50～ 19:00 意見交換会(オーガナイザー:鈴木 剛 S63 卒)
テーマ①:土木技術者が向かう維持管理時代への挑戦・展望
テーマ②:実現可能な大学支援と教職員から見た土木業界への期待
- 19:00～ 19:10 理事あいさつ 酒井 一郎 副会長 (S56 卒)



土木学会 継続教育プログラム

認定番号 : JSCE15-0847 (5.3 単位)

基調講演

道路橋の耐久性問題とその対策

講演者 呉 承寧 先生

(1) 講演要旨

日本の高速道路、国道、および市町村の道路に16万橋以上の道路橋が建設され、重要な社会基盤施設となっている。しかし、その中約2割の橋梁はすでに建設後50年以上経過し、老朽化の問題が発生している。この問題を解決するために、本講演は日本の道路橋の現状、道路橋早期劣化の原因および対策について紹介し、今後の道路橋の建設および維持管理に最新の技術を提供する。

(2) 講師 Profile

氏名: 呉 承寧 (ウー チェンニン)

職歴等: 昭和 61 年 8 月 中国水利電力省・交通省南京水利科学研究院 研究員
平成 4 年 8 月 東京工業大学工学部 客員研究員
平成 7 年 9 月 オリエンタル建設株式会社技術研究所 主任研究員
平成 19 年 10 月 オリエンタル白石株式会社技術研究所 副所長
平成 23 年 4 月 愛知工業大学工学部 教授
現在に至る

委員等経歴: 土木学会「コンクリート委員会腐食防食小委員会」委員
国土技術政策総合研究所・土木研究所・プレストレストコンクリート建設協会「ミニマムメンテナンスPC橋開発に関する共同研究委員会」委員
土木学会「ステンレス鉄筋コンクリート設計施工研究小委員会」委員
石炭エネルギーセンター「CCP有効利用技術高度化委員会」委員
日本コンクリート工学会「ISO/TC71 対応国内委員会」委員
プレストレストコンクリート工学会「PCグラウトの設計施工指針」改訂委員会委員
プレストレストコンクリート工学会「プレストレストコンクリートサステナビリティ委員会」委員
土木工学会「非鉄スラグ骨材コンクリート研究小委員会」委員兼幹事
プレストレストコンクリート工学会「PEシーすを用いたPC橋梁の設計施工指針作成に関する検討委員会」委員兼幹事 ほか

講 演 [I]
森林整備と連動した溪間安定手法
～簡易木製工作物の設置及びその効果の検証～

講演者 服部 富雄 氏 (特別会員)

(1) 講演要旨

「治山治水」という言葉を耳にした方はあっても「治山」事業の内容や「砂防」事業との違いを知る者は少ないであろう。今回は、治山事業を概説したうえで実務者として担当した業務の中から、雪折れした森林の被害木を用いて床固工と同様の溪間安定効果を発揮する手法の紹介と施工後10年の現状を報告する。

(2) 講師 Profile

氏 名: 服部 富雄 (はっとり とみお)

職 歴 等: 昭和 51 年 4 月 岐阜県入庁(技術吏員:林学)
平成 24 年 3 月 県立森林文化アカデミー副学長をもって退職
平成 24 年 4 月 株式会社興栄コンサルタント 入社
現在に至る

委員等経歴: 林野公共事業費用対効果手法検討委員会委員
森林資源活用研究会会長 ほか

資 格: 技術士(建設部門, 森林部門, 総合技術監理部門)

著作・論文: 第46回治山研究発表会(H17年10月)論文集
現地発生材利用による溪間安定手法の提案ほか
第38回林道研究発表会(H14年10月)論文集
林道法面の植生誘導工法ほか
岐阜県土地分類基本調査
「彦根東部」「津島」「桑名」ほか

講 演 [Ⅱ]
快適なまちづくりと
交通システムの整備について

講演者 加藤 信夫 会員 (S. 46 卒)

(1) 講演要旨

名古屋の交通システムについて、地下鉄とバスのネットワークの特徴などを概観する。次に都市計画と交通システムの調和のとれた整備として、各種の交通システムが適用する範囲、広幅員道路を生かしたガイドウエーバスなどの事例、海外の事例などを取り上げる。また名駅地区や栄地区などで見られるまちづくりの事例を紹介する。未来の交通として、ITS や現在整備が進むリニア新幹線などについて説明する。

(2) 講師 Profile

氏 名:加藤 信夫 (かとう のぶお)

卒業年次:昭和 50 年 3 月

職 歴 等:昭和 46 年 4 月 名古屋市交通局 入局
平成 11 年 4 月 名古屋市総務局 主幹
平成 11 年 6 月 中部国際空港連絡鉄道株式会社 技術部次長
平成 14 年 4 月 名古屋市交通局 工事事務所長
平成 17 年 4 月 株式会社名古屋交通開発機構 施設部長
平成 18 年 10 月 愛知工業大学工学部 非常勤講師
平成 19 年 7 月 加藤技術士事務所 設立 所長役就任
現在に至る

委員等経歴:公益社団法人日本技術士会中部本部理科支援小委員会 副委員長
公益社団法人日本技術士会中部本部中部倫理委員会 委員 ほか

資 格:技術士(建設部門,総合技術監理部門)

著作・論文:複心円シールド掘進記録 日本地下鉄協会報 第 142 号
技術者倫理 日本の事例と考察 丸善出版(共著 第 2 章)
技術倫理と社会 第 3 号 日本技術士会中部本部 ほか